

平成25年3月期 第2四半期連結決算概要

1. 連結の範囲

項目	平24年3月期	平24年9月期	増減
連結子会社数	67社	67社	0社
持分法適用会社数	25社	25社	0社
合計	92社	92社	0社

2. 業績概要

(1) 経営成績

(単位:億円)

注. 億円未満切捨て

項目	前年第2四半期 (H23.4~H23.9)	当第2四半期 (H24.4~H24.9)	増減
売上高	3,116	3,107	△8
営業利益	226	161	△64
金融収支	△14	△12	1
持分法投資損益	10	5	△5
その他営業外損益	△15	△7	7
経常利益	207	146	△60
特別損益	△13	△5	8
四半期純利益	121	84	△37

1株当たり四半期純利益	12円11銭	8円42銭	△3円69銭
-------------	--------	-------	--------

為替レート(円/\$)	79.8	79.4	△0.4
ナフサ価格(円/KL)	57,000	55,200	△1,800
豪州炭価格(円/t)*	11,407	10,327	△1,080

\*豪州炭(GIF)

[セグメント別 売上高・営業利益]

(単位:億円)

項目	セグメント	前年第2四半期 (H23.4~H23.9)	当第2四半期 (H24.4~H24.9)	増減
売上高	化成品・樹脂	1,152	1,093	△58
	機能品・ファイン	335	321	△14
	医薬	38	56	18
	建設資材	1,008	1,015	7
	機械・金属成形	335	343	7
	エネルギー・環境	308	354	46
	その他	125	123	△1
	調整額	△186	△201	△14
	合計	3,116	3,107	△8
営業利益	化成品・樹脂	137	38	△98
	機能品・ファイン	37	18	△18
	医薬	7	19	12
	建設資材	29	45	16
	機械・金属成形	6	16	10
	エネルギー・環境	15	26	11
	その他	4	4	0
	調整額	△10	△8	1
	合計	226	161	△64

カ°ロラクム販売価格低下 他

販売価格低下 他

販売数量増、ライセンス収入増

セメント・生コン 販売数量増 他

成形機・産機出荷増、製鋼品販売量減 他

石炭取扱数量増、売電価格上昇 他

カ°ロラクムスプレッド°(製品と原料の値差)縮小 他

販売価格低下 他

販売数量増、ライセンス収入増

セメント国内販売数量増、固定費減 他

成形機・産機出荷増、成形機採算改善 他

電力採算改善、I P P補修費減 他

(注) 営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

## (2) 財政状態

(単位:億円)

(借方)	平24/3末	平24/9末	対前期末	(貸方)	平24/3末	平24/9末	対前期末
現預金	332	325	△ 6	支払手形・買掛金	888	861	△ 26
売上債権	1,501	1,447	△ 53	未払金	319	309	△ 10
たな卸資産	812	886	74	有利子負債	2,539	2,496	△ 43
有形固定資産	3,139	3,140	1	その他負債	657	655	△ 2
無形固定資産	49	47	△ 1	純資産	2,244	2,376	132
投資有価証券	348	349	0	(株主資本)	(2,188)	(2,222)	(34)
繰延税金資産	135	153	18	(その他の包括利益累計額)	(△ 193)	(△ 172)	(21)
貸付債権	13	12	△ 1	(新株予約権)	(4)	(4)	(0)
その他資産	317	334	17	(少数株主持分)	(244)	(321)	(76)
資産合計	6,649	6,699	49	負債、純資産合計	6,649	6,699	49

## (3) キャッシュ・フローの状況

&lt;参考&gt;

項目	平24年9月期		平23年9月期
営業活動による キャッシュ・フロー	億円 189	税引前四半期純利益 141、減価償却費 154、 運転資金増減 △51、法人税等支払△74 他	億円 116
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 181	有・無形固定資産の取得 △184 他	△ 233
財務活動によるキャッシュ・フロー (有利子負債) (配当金支払等)	△ 17 (△ 48) (30)	少数株主からの払込みによる収入 96、配当金の支払 △61 他	△ 59 (1) (△ 60)
現金及び現金同等物 四半期末残高	324		321

## 【トピックス】

ー化成品・樹脂セグメントー

- ◆ウベ・ケミカルズ・アジア社においてタイ国IRPC社と資本提携 [平成24年5月]
- ◆液化炭酸製造設備の増強に着手 [平成24年7月]
- ◆インド現地法人を設立 [平成24年7月]
- ◆千葉石油化学工場の合成ゴム製造設備増強工事(第1ステップ 年産1万5千トン)が完工 [平成24年8月]

ー機能品・ファインセグメントー

- ◆堺工場でリチウムイオン二次電池用セパレーター製造設備増強に着手 [平成24年4月]
- ◆中国における炭酸ジメチル合弁会社設立に合意 [平成24年4月]
- ◆有機金属化合物(MO)第二工場が完工 [平成24年8月]

ー機械・金属成形セグメントー

- ◆東洋機械金属(株)とダイカストマシン生産における業務提携に合意 [平成24年4月]

### 3. 通期業績予想

(単位:億円)

項目	平24年3月期	平25年3月期	対前期増減
売上高	6,386	6,380	△ 6
営業利益	460	360	△ 100
経常利益	408	300	△ 108
特別損益	△ 32	△ 30	2
当期純利益	229	160	△ 69

1株当たり当期純利益	22円85銭	15円91銭	△6円94銭
------------	--------	--------	--------

年間配当金	5.0円	5.0円	0.0円
-------	------	------	------

為替レート(円/\$)	79.1	78.7	△ 0.4
-------------	------	------	-------

ナフサ価格(円/KL)	55,000	54,400	△ 600
-------------	--------	--------	-------

豪州炭価格(円/t)*	11,360	10,009	△ 1,351
-------------	--------	--------	---------

\*豪州炭(CIF)

#### [セグメント別 売上高・営業利益]

(単位:億円)

項目	セグメント	平24年3月期	平25年3月期	対前期増減	
売上高	化成品・樹脂	2,310	2,240	△ 70	カブ・ロカテム販売価格低下
	機能品・ファイン	643	710	67	販売数量増 他
	医薬	111	125	14	販売数量増、ライセンス収入増
	建設資材	2,091	2,075	△ 16	
	機械・金属成形	725	725	0	
	エネルギー・環境	625	650	25	石炭取扱数量増 他
	その他	259	235	△ 24	
	調整額	△ 380	△ 380	0	
	合計	6,386	6,380	△ 6	
営業利益	化成品・樹脂	229	79	△ 150	カブ・ロカテムスプレッド（製品と原料の値差）縮小
	機能品・ファイン	54	57	3	販売数量増、販売価格低下 他
	医薬	37	40	3	ライセンス収入増 他
	建設資材	86	114	28	セメント 国内販売数量増、固定費減 他
	機械・金属成形	30	35	5	成形機出荷増 他
	エネルギー・環境	33	48	15	電力採算改善、I P P補修費減 他
	その他	10	10	0	
	調整額	△ 23	△ 23	0	
	合計	460	360	△ 100	

(注) 営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

#### [参考] 連結主要指標

(単位:億円、倍、%、人)

項目	前年第2四半期 (H23.4~H23.9)	当第2四半期 (H24.4~H24.9)	当通期<予想> (H24.4~H25.3)	前年通期 (H23.4~H24.3)
設備投資	206	173	380	444
減価償却費	158	154	325	329
研究開発費	66	69	145	137
事業利益	244	173	375	479
有利子負債残高	2,606	2,496	2,470	2,539
純有利子負債残高	2,284	2,172	2,130	2,208
自己資本	1,939	2,050	2,130	1,994
総資産	6,624	6,699	6,770	6,649
ネットD/Eレシオ(倍)	1.2	1.1	1.0	1.1
自己資本比率(%)	29.3	30.6	31.5	30.0
売上高営業利益率(%)	7.3	5.2	5.6	7.2
総資産事業利益率(%)	—	—	5.6	7.2
自己資本利益率(%)	—	—	7.8	11.9
従業員数(人)	11,171	11,202	11,300	11,081



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月2日  
上場取引所 東・福

上場会社名 宇部興産株式会社  
コード番号 4208 URL <http://www.ube.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹下 道夫  
問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 坂本 靖子 (TEL) 03-5419-6110  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	310,775	△0.3	16,188	△28.5	14,676	△29.2	8,461	△30.5
24年3月期第2四半期	311,642	5.8	22,649	35.4	20,722	51.1	12,171	60.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 10,656百万円 (△13.4%) 24年3月期第2四半期 12,310百万円 (307.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.42	8.40
24年3月期第2四半期	12.11	12.09

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	669,936	237,667	30.6
24年3月期	664,965	224,407	30.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 205,013百万円 24年3月期 199,473百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	638,000	△0.1	36,000	△21.7	30,000	△26.5	16,000	△30.3	15.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	1,009,165,006株	24年3月期	1,009,165,006株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,825,000株	24年3月期	3,810,090株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	1,005,348,204株	24年3月期2Q	1,005,330,760株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※ 当社は、以下のとおりネットコンファレンスを開催する予定です。当日の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・平成24年11月2日（金）・・・アナリスト、機関投資家向けネットコンファレンス

## 【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) セグメント情報等 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経済情勢は、米国では緩やかな回復が続いたものの、欧州財政危機への不安が世界経済に影響を及ぼし、アジアでも中国をはじめとして景気の拡大テンポが鈍化するなど、世界経済は減速感が広がりました。一方国内経済は、復興需要等を背景として景気は緩やかに持ち直しつつも、円高や海外景気の減速など、不透明感が強まりました。

このような状況の下、当社グループは、当期を最終年度とする三カ年の中期経営計画「ステージアップ2012ー新たな挑戦」の基本方針である「持続的成長を可能にする収益基盤の確立」「財務構造改革の継続」「地球環境問題への対応と貢献」に基づき、市場や需給環境の変化にスピード感を持って対応するとともに、各事業課題の解決に向け、取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は前年同期に比べ8億6千7百万円減の3,107億7千5百万円、連結営業利益は64億6千1百万円減の161億8千8百万円、連結経常利益は60億4千6百万円減の146億7千6百万円、連結四半期純利益は37億1千万円減の84億6千1百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益
当第2四半期	3,107億円	161億円	146億円	84億円
前年同期	3,116億円	226億円	207億円	121億円
増減率	△0.3%	△28.5%	△29.2%	△30.5%

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### 化成品・樹脂セグメント

ナイロン原料のカプロラクタムは、世界的な景気の減速や中国市場での他社新設備稼働開始に伴う需給緩和により市況が低迷し、スプレッド（製品と原料の値差）は好調だった前年同期に比べ大幅に縮小しました。ポリブタジエン（合成ゴム）も中国需要低迷の影響を受け、出荷は前年同期を下回りました。一方、ナイロン樹脂はエコカー補助金の効果などもあり、自動車向けを中心として好調で、工業薬品も総じて堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ58億3千3百万円減の1,093億7千1百万円、連結営業利益は98億8千8百万円減の38億9千万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	1,093億円	38億円
前年同期	1,152億円	137億円
増減率	△5.1%	△71.8%

#### 機能品・ファインセグメント

リチウムイオン電池用の電池材料については、セパレーターの出荷は車載需要の立ち上がりに伴い伸長しましたが、電解液の出荷は国内民生需要低迷の影響を受け低調でした。電子情報材料分野での需要回復遅れにより、薄型テレビ向けフィルムを中心とするポリイミドの出荷も伸び悩み、太陽電池生産部材向けを中心とするセラミックスなど、多くの機能性材料で出荷が低調でした。ファインケミカル製品は、総じて市況低迷の影響を受けました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ14億4千1百万円減の321億4百万円、連結営業利益は18億5千6百万円減の18億6千4百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	321億円	18億円
前年同期	335億円	37億円
増減率	△4.3%	△49.9%

#### 医薬セグメント

抗アレルギー剤や血圧降下剤、抗血小板剤の自社医薬品を中心として、原体・中間体の販売は順調に伸長し、ロイヤルティ収入も増加しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ18億7千1百万円増の56億9千2百万円、連結営業利益は12億4千8百万円増の19億4千8百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	56億円	19億円
前年同期	38億円	7億円
増減率	49.0%	178.3%

#### 建設資材セグメント

セメント・生コン及び建材製品の出荷は、マンション・住宅着工や企業の設備投資が持ち直すとともに、復興需要も出始めたことから、前年同期を上回りました。各種廃棄物の原燃料へのリサイクルも堅調でした。カルシア・マグネシア製品の販売は、自家発電設備の排煙脱硫向けの出荷は堅調でしたが、鉄鋼、電子情報材料向けの需要は低迷しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ7億1千万円増の1,015億3千5百万円、連結営業利益は16億7千4百万円増の45億8千2百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	1,015億円	45億円
前年同期	1,008億円	29億円
増減率	0.7%	57.6%

#### 機械・金属成形セグメント

自動車産業向けを中心とする成形機は、新機種の市場への浸透が進み、受注は新興国・北米向けを中心に増加しました。堅型ミルや運搬機等の産業機械は、円高や国内外メーカーとの価格競争の激化等により受注では厳しい状況が続きましたが、足元の出荷は堅調でした。製鋼品は、市場の需要低迷及び円高の影響を受け、出荷は低調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ7億9千万円増の343億6千5百万円、連結営業利益は10億2百万円増の16億3千1百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	343億円	16億円
前年同期	335億円	6億円
増減率	2.4%	159.3%

#### エネルギー・環境セグメント

石炭事業は、販売炭の売上数量、コールセンター（石炭中継基地）の取扱い数量とも、化学、製紙会社向けを中心に好調でした。電力事業は、燃料である石炭価格の下落及び電力需給逼迫に伴う売電価格上昇により採算が改善したことに加えて、IPP発電所にかかる補修費が前年同期に比べ減少しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ46億3千3百万円増の354億4千5百万円、連結営業利益は11億8千1百万円増の26億9千9百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	354億円	26億円
前年同期	308億円	15億円
増減率	15.0%	77.8%



#### その他のセグメント

その他の連結売上高は前年同期に比べ1億6千8百万円減の123億8千4百万円、連結営業利益は4千2百万円増の4億4千2百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第2四半期	123億円	4億円
前年同期	125億円	4億円
増減率	△1.3%	10.5%

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は前年度末に比べ、受取手形及び売掛金が53億1千2百万円減少しましたが、商品及び製品などのたな卸資産が74億2千9百万円増加したことなどにより流動資産が36億5千9百万円増加した結果、49億7千1百万円増加し6,699億3千6百万円となりました。

負債については、有利子負債が43億1千9百万円減少し、また支払手形及び買掛金が26億1千5百万円減少したことなどにより、82億8千9百万円減少し4,322億6千9百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当により利益剰余金が50億3千5百万円減少しましたが、四半期純利益により利益剰余金が84億6千1百万円増加、タイ国子会社における第三者割当増資の実施などにより少数株主持分が76億9千1百万円増加、また為替換算調整勘定が28億9千万円改善したことなどにより、132億6千万円増加し2,376億6千7百万円となりました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、新興国の成長が鈍化するなど世界経済は減速の動きが広がり、国内経済においても輸出の低迷、デフレの影響など、事業環境は一段と厳しさを増しております。

こうした情勢を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成24年10月15日に公表しました通り、売上高6,380億円、営業利益360億円、経常利益300億円、当期純利益160億円を見込んでおります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,267	32,575
受取手形及び売掛金	150,108	144,796
商品及び製品	34,988	39,967
仕掛品	18,697	20,305
原材料及び貯蔵品	27,581	28,423
その他	20,285	22,483
貸倒引当金	△509	△473
流動資産合計	284,417	288,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	85,084	86,122
機械装置及び運搬具（純額）	121,471	127,082
土地	84,093	84,412
その他（純額）	23,301	16,457
有形固定資産合計	313,949	314,073
無形固定資産		
その他	4,941	4,745
無形固定資産合計	4,941	4,745
投資その他の資産		
投資有価証券	34,883	34,966
その他	28,672	29,734
貸倒引当金	△1,976	△1,800
投資その他の資産合計	61,579	62,900
固定資産合計	380,469	381,718
繰延資産	79	142
資産合計	664,965	669,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,811	86,196
短期借入金	97,073	99,110
コマーシャル・ペーパー	2,999	2,999
1年内償還予定の社債	15,000	—
未払法人税等	6,570	6,573
賞与引当金	7,415	7,308
その他の引当金	981	953
その他	48,542	47,923
流動負債合計	267,391	251,062
固定負債		
社債	15,100	30,100
長期借入金	122,151	115,853
退職給付引当金	6,534	6,556
その他の引当金	3,591	2,927
負ののれん	2,077	1,619
資産除去債務	1,148	1,160
その他	22,566	22,992
固定負債合計	173,167	181,207
負債合計	440,558	432,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,459	28,459
利益剰余金	132,751	136,177
自己株式	△784	△786
株主資本合計	218,861	222,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,427	686
繰延ヘッジ損益	△193	△226
為替換算調整勘定	△20,622	△17,732
その他の包括利益累計額合計	△19,388	△17,272
新株予約権	462	491
少数株主持分	24,472	32,163
純資産合計	224,407	237,667
負債純資産合計	664,965	669,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	311,642	310,775
売上原価	250,271	256,095
売上総利益	61,371	54,680
販売費及び一般管理費	38,722	38,492
営業利益	22,649	16,188
営業外収益		
受取利息	336	283
受取配当金	425	347
受取賃貸料	625	608
負ののれん償却額	79	67
持分法による投資利益	1,062	556
その他	1,367	2,527
営業外収益合計	3,894	4,388
営業外費用		
支払利息	2,233	1,903
賃貸費用	648	527
為替差損	737	605
その他	2,203	2,865
営業外費用合計	5,821	5,900
経常利益	20,722	14,676
特別利益		
固定資産売却益	113	134
投資有価証券売却益	—	116
補助金収入	—	50
事業譲渡益	—	264
負ののれん発生益	—	65
特別利益合計	113	629
特別損失		
固定資産処分損	266	762
投資有価証券売却損	—	3
持分変動損失	—	213
減損損失	49	138
投資有価証券評価損	1,047	28
関連事業損失	122	—
特別損失合計	1,484	1,144
税金等調整前四半期純利益	19,351	14,161
法人税等	6,679	5,607
少数株主損益調整前四半期純利益	12,672	8,554
少数株主利益	501	93
四半期純利益	12,171	8,461

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,672	8,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228	△763
繰延ヘッジ損益	△57	△38
為替換算調整勘定	△89	2,863
持分法適用会社に対する持分相当額	12	40
その他の包括利益合計	△362	2,102
四半期包括利益	12,310	10,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,961	10,598
少数株主に係る四半期包括利益	349	58

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,351	14,161
減価償却費	15,880	15,417
減損損失	49	138
負ののれん償却額	△79	△67
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△58	△216
受取利息及び受取配当金	△761	△630
支払利息	2,233	1,903
為替差損益 (△は益)	121	△15
持分法による投資損益 (△は益)	△1,062	△556
固定資産売却損益 (△は益)	△108	△164
売上債権の増減額 (△は増加)	830	4,875
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,876	△7,969
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,232	△2,063
その他	△462	2,255
小計	17,826	27,069
利息及び配当金の受取額	1,006	1,452
利息の支払額	△2,232	△2,044
法人税等の支払額	△4,999	△7,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,601	18,993
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△23,131	△18,476
有形固定資産の売却による収入	262	362
投資有価証券の取得による支出	△14	△1
投資有価証券の売却による収入	40	39
関係会社株式の取得による支出	△704	△4,341
関係会社株式の売却による収入	—	4,021
短期貸付金の増減額 (△は増加)	135	142
その他	46	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,366	△18,192
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,698	△32
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	14,998	△0
長期借入れによる収入	4,493	12,427
長期借入金の返済による支出	△14,312	△16,798
社債の発行による収入	—	14,925
社債の償還による支出	△20	△15,000
少数株主からの払込みによる収入	—	9,663
配当金の支払額	△5,008	△5,047
少数株主への配当金の支払額	△414	△1,081
その他	△941	△776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,902	△1,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	326	217
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,341	△701
現金及び現金同等物の期首残高	49,522	33,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,181	32,406

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギ ー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	108,786	31,542	3,770	98,834	32,766	24,748	11,196	311,642	—	311,642
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,418	2,003	51	1,991	809	6,064	1,356	18,692	△18,692	—
計	115,204	33,545	3,821	100,825	33,575	30,812	12,552	330,334	△18,692	311,642
セグメント利益 (営業利益)	13,778	3,720	700	2,908	629	1,518	400	23,653	△1,004	22,649

(注1) セグメント利益の調整額△1,004百万円には、セグメント間取引消去△47百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△957百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギ ー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	102,732	30,113	5,692	99,124	33,696	28,386	11,032	310,775	—	310,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,639	1,991	—	2,411	669	7,059	1,352	20,121	△20,121	—
計	109,371	32,104	5,692	101,535	34,365	35,445	12,384	330,896	△20,121	310,775
セグメント利益 (営業利益)	3,890	1,864	1,948	4,582	1,631	2,699	442	17,056	△868	16,188

(注1) セグメント利益の調整額△868百万円には、セグメント間取引消去△31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△837百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。